

## 令和5年度 幼児・児童教育研究センターの取組

幼児・児童教育研究センター 所長 古川元視

幼児・児童教育研究センターは、昭和56年（1981年）に設置され、別府大学短期大学部の研究活動の拠点として41年間歩んでまいりました。センターの主な内容としては、1 幼児・児童の発達とそれに応ずる教育の研究、2 教育課程・保育課程及びその指導方法等の研究、3 教材・教具の開発、製作指導及び資料の提供、4 幼児・児童教育に関する資料・図書等の収集、整理提供、5 幼児・児童の教育に関する講演会等の開催、6 地域における子育て支援事業、7 幼児・児童に関する相談事業、8 その他センターの目的達成のために必要な事業があります。

今年度は、7月29日（土）に公開講座を本学メディアセンターにて実施しました。午前中は、「ICT機器を活用した授業」のテーマで、大分市立明治北小学校 東純子指導教諭、明星小学校 時枝智美教諭、横浜市立緑園義務教育学校 池田真洋教諭（ZOOMにて参加）による実践発表&パネルディスカッションを、午後は、前こぐま社社長であり「緑のゆび」店主 吉井康文先生による「子どもの心を育む絵本の世界」について、御講演いただきました。

また、8月5日（土）午後に同会場で、「未来に拓く小学校外国語教育を創る」というテーマで、沖縄県宮古島市立結の端学園 平良優教諭による実践発表（ZOOMにて参加）を、直山木綿子氏（文部科学省初等中等教育局 視学官）による「小学校における外国語教育の今、そして、これから」というテーマでの講演&交流タイムを実施しました。両公開講座も県内外から多くの保育者、教育者に御参加いただきました。

さらに、10月24日（水）、2月14日（水）は、明星小学校において、「主体的な探究力の育成－ロイロノートの活用を通して－（2年次）」というテーマで授業公開研究会を実施しました。授業公開、その後、情報交換会、講演会でした。8月3日には、シンキングツールの活用の仕方についての講師を招いた研修会も実施されました。明星小学校の先生方の授業に向き合う姿勢に心を打たしました。校長先生はじめ全教職員の皆様に感謝申し上げます。

今年度も、実践報告では、境川保育園、春木保育園、別府大学附属幼稚園、明星幼稚園、明星小学校の先生方から、大変特色ある取組についても報告いただきました。また、別府大学短期大学部教員による研究論文等も掲載しております。保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の養成校としての教員の研究活動についても御覧いただけますとありがたく存じます。

また、今年度も本学の松崎准教授、斎藤講師、大関講師による「子育て相談」を実施しました。昨年度より多くの方々が相談に見えられました。

現在、幼児・児童に読んでほしい図書をそろえているところで、今年度購入しました図書リストも巻末資料に掲載しておりますので、参考にしていただければ幸いです。今年度は、矢頭由美子氏から多くの児童書の贈呈がありました。研究や授業で活用したいと考えております。この場をお借りいたしまして、お礼申し上げます。

今年度も、本学と明星小学校、及び本学と附属幼稚園との連携プロジェクトを推進しております。連携を深めることで、研究を推進し、教職員の資質向上に寄与するものと考えております。連携の内容についても本レポートをご覧ください。

これからも、当センターでは、研究活動の拠点として様々な活動を行っていく予定です。奮って御参加いただきますようお願い申し上げます。